



いとう こういち
行方市長 伊藤 孝一

昭和 25 年 5 月 17 日 生まれ 59 歳

市長就任のごあいさつ

このたびの市長選挙におきまして、市民の皆様の厳粛な付託を受け、行方市長として、市政に当たらせていただくことになりました。社会経済情勢が厳しさを増しているこの時期、市政を預かる責任の重さに身の引き締まる思いです。

「努力をすれば必ずできる。」

「一生懸命やれば必ずできる。」

この信念の下、行方市の発展のためがんばってまいります。「人

と人が助け合い、つながりの大切さを実感できる真に豊かなまちづくり」を目標に、よりよいまちづくりを市民の皆様と一緒に進めていく決意でございます。

私は、この実現のため、次のことを基本方針として各種の政策及び施策を展開してまいりますと考えています。

【行財政改革】

○行財政改革に重点を置いた、各種行政課題への取り組み

○新庁舎建設計画の凍結
○現庁舎を十二分に活用した行政サービスの充実

【保健・医療・福祉の充実】
○高齢者が安心安全に暮らせるまちづくり
○働きながら子供を生み育てる環境の整備

【教育・文化の充実】

○地域の実情にあった学校統廃合の決定

○人間形成の場となる幼児教育・学校教育・生涯学習の充実
○スポーツ・レクリエーションの振興

【産業の振興】

○農業の発展重視のための施策の展開

○商工業発展のための施策の展開
○麻生地区、北浦地区、玉造地区それぞれの旧市街地のまちづくり再生

○様々な媒体を通じた情報発信による地域産業や地域社会の発展を目指した施策の展開

○工業団地等における企業誘致の推進

○新産業・新規事業への支援に

伊藤市政スタート

— 公平・公正な

偏りのないまちづくり —

よる地域雇用の創出

【生活環境の整備】

○地域間の調和がとれた安全快適な道路整備

○下水道施設等の整備による生活排水処理対策

○地球温暖化防止に伴う自然環境の保護及び計画的な土地利用の推進

○大地震、台風災害など想定される災害への対策強化及び一人暮らし高齢者世帯などへの対応、危険箇所への対策強化

【連携・交流の促進】

○地域交流のできる憩いの場を増やし、地域どうしがつながった結束力のあるまちづくり

○誰とでもさわやかに話し合う対話と、公平・公正な市政で心のふれあうまちづくり

○女性の声を大切にした男女共生のまちづくり

○民間交流、姉妹・友好都市交流、国際交流等を通じ、多くを学び、広域的な諸課題にも対処できる人材を育て、新しい視点を養うことによるまちづくり

行方市は、東は北浦、西は霞ヶ浦に面しており、遠くには筑波山や富士山を望むことができる非常に美しい自然景観を有するとともに、行方台地の多くの自然を有しております。この自然を活かすとともに、古来より、息づく文化の振興、先人から受け継いだ歴史資源や文化施設を

活用しながら、厳しい財政の中、民間的発想をもって地域の活性化に取り組んでまいります。「やればできる」の信念の下、微力ではありますが、全身全霊をかけて市政運営にあたる所存でありますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



伊藤市長は、10月2日に初登庁し、職員に対し訓辞を行いました。

